13年度事業計画など承認

建築士事務所協会が総会

山田会長

一般社団法人への移行後初となる群馬県建築士事務所協会（山田美光会長）の2013年度通常総会が29日、前橋市内のアニバーサリーコート・ラシーネで盛大に挙行された。

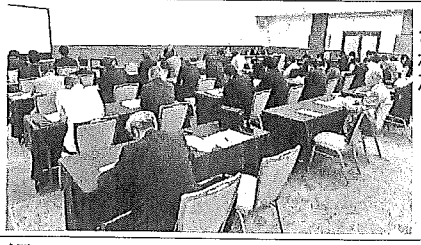
当日は昨年度の事業報告や本年度の事業計画案などが審議され、いずれの議案も多くの拍手をもって承認された。

冒頭、あいさつに立った山田会長は「昨年度は一般社団法人への移行準備や天川大島町の所有地処理、さらには協会事務局に隣接する駐車場の取得など財産面が一区切りした年だった」と振り返り、続けて「法人格を取ったことで、会員のさらなる資質向上を図らなければならない。そのためにもコミュニケーションを積極的に図り、会を一層良くしてまいりたい。本日は昨年度の事業報告および収支決算、新たなスタートとなる事業計画案などが上程されるが、慎重かつ円滑な審議をお願いしたい」と協力を呼びかけた。

議事へと移り、第1号議案から第5号議案が審議。いずれも満場一致で承認された。本年度も引き続き、会員の増強や各種研修会および見学会の実施、広報活動の推進などに努めていく。

閉会前には、同協会の星野明彦事務局長が6月末で退職する人事が報告され、星野事務局長へ事務局から花束とともに、多数の拍手が贈られた。

休憩を挟み、日本建築士事務所協会連合会が提案する『（仮称）建築士事務所法』の概要が高津充良専務理事から説明された。同連合会が制定を求める（仮称）建築士事務所法は建築士事務所に関する法律を建築士法第6章などから独立させ、さらに現状の問題点を踏まえ、無登録業務の禁止拡充や建築士事務所名称の制限など10項目を加えたもの。高津専務理事は、建築士法では業態に関する規制がないことを指摘。「各種のトラブル解決には建築士事務所法制定が必要」と強調した。


全ての議案が承認された

群浄協

小倉会長を再任

第1回定時社員総会開催

小倉会長

群馬県浄化槽協会（小倉喜八郎会長）は29日、高崎市のニューサンピアで一般社団法人移行後の第1回定時社員総会を盛大に開催した。役員改選議案などを審議し、全会一致で小倉会長の再任を決定した。

冒頭、あいさつに登壇した小倉会長は大勢の参会に感謝の意を表し「昨年度はエコ補助金の2年目だったが、単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換は目標の1500基に届かず、転換の難しさを感じる2年間だった。従来の手法ではなく、画期的な手を考える時期に来ている。本年度はエコ補助金が3年目に入るが、県の汚水処理人口普及率の向上に貢献していく。安全安心な水の確保は国家の基本戦略にもなっており、浄化槽は極めて効率的な施設としてますます重要な役割を果たしていくことが期待されている」と呼びかけた。

桑原課長

来賓として駆けつけた県下水環境課の桑原幸治課長は「合併浄化槽は下水道に並ぶ恒久的な生活廃水処理設備。生活排水による汚濁を削減するには合併浄化槽の普及と適切な維持管理が不可欠。貴協会のご理解とご協力をお願いしたい」と祝辞を述べた。

総会では全議案を満場一致で承認。本年度事業計画には◇浄化槽教室や研修会、講習会の開催◇単独から合併への転換の促進◇環境調査の実施◇県立森林公園21世紀の森での奉仕活動の実施―などを盛り込んだ。本年度の活動スローガンには◇市町村における生活排水処理基本計画の見直しを働きかけ、浄化槽整備区域の拡大に向けての積極的設定の促進を要望する◇浄化槽は、世界に誇るべき生活排水処理施設であり、県内に広く情報を提供し、普及促進を図ることにより、地域の環境を守ることに貢献する―など7つを掲げた。

また、業界発展の功績が顕著と認められた19人に表彰状・感謝状が小倉会長から授与された。受賞者を代表して怒木忠彦氏が「誠に身に余る光栄で、これからも一層の研さんを重ね、引き続き精進していく」と謝辞を述べた。

新たな正副会長は次の通り（敬称略）。

◇会長＝小倉喜八郎
◇副会長＝星野正夫、大竹幸明、高橋利宏、須田育男

全会一致で小倉会長の続投を決めた

高崎土建組合

吉井地区で地域貢献

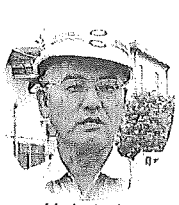
14社19人がごみゼロ運動

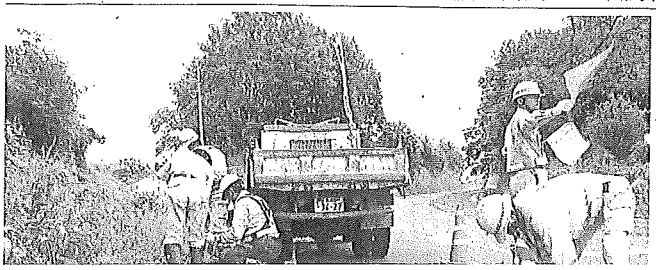
高崎土木建築業協同組合（高橋榮作理事長）は30日、高崎市吉井町内で地域貢献ごみゼロ運動を展開した。「市民に愛される建設業」を目標に掲げて実施するもので、同組合の吉井地区会員企業14社から19人が参加。側溝の土砂上げや土手草刈りなどを通して地域美化に努めた。

当日は、吉井支所において群馬県建設業協会高崎支部の道路クリーン作戦と合同で出発式を開催した。同組合の鈴木泰吉井地区理事は「日ごろお世話になっている市民の方々への恩返しをしたい」と参加者に趣旨を説明。大野勝己副理事長は「地域貢献として初めて行う事業となるが、どうか事故のないように市民の方々に愛される建設業ということを心に刻みながら作業を行っていただきたい」と呼びかけた。

大谷支所長

大野副理事長


鈴木理事



◆◆◆中央の行政・業界ニュース◆◆◆